**第7回ＳＭＧ杯札幌ミックスダブルス選手権大会**

**競技方法等事前通知事項**

　審判長　荻原　功暉

本大会は、JCA競技規則 2018.11 版及び本通知で定めた規則に基づき行いますが、基本的にセルフジャッジとします。

カーリング精神に則り、選手の協力をお願いします。

◎「ポジションA」のストーンの位置は、チームミーティングにて審判長より通知する。

Ⅰ　予選リーグ

　１）試合方式

・1リーグ3チームの総当たり戦

・試合の長さは6エンド又は72分とする。

・エキストラエンドは実施しない。

・10分前コールを行うので、そのエンドで試合を終了すること。

　２）予選の順位付け

・予選の順位は、勝点（ポイントは、勝：3、引き分け：1、負け：0）の多い順で決める。

・勝点が同点の場合は、直接対決により勝利したチームを上位とするが、それでも決まらない場合はLSDの合計値（以降、DSCと呼ぶ）の少ない方を上位とする。DSCが同値の場合は、個々のLSDを比較し短いチームを上位とする。これらにより決まらない場合は、トスにより順位を決定する。

　３）LSD、試投、ストーンの選択

・試合開始前に各チーム代表1人によるLSDを実施すること。

・**ストーンの回転方向は、1試合目は時計回り、2試合目は反時計回りの順で投球すること。これを守らなかった場合の記録は、185.4cmとする。**

・**各試合におけるLSD投球者のみ、1投の試投を認める。**

・LSDの投球の順番はトスにより決定する。先に投球するチームは赤色ストーン、後のチームは黄色ストーンを使用すること。

・LSDの計測及び記録は各チームで行うこと。

　４）ストーンの配置

・LSDの短いチームが1エンド目のストーンの配置"A"又は"B"のポジションを選択し配置する。なお、LSD

が同値の場合はトスによりストーンの配置の選択権を決定する。

・ストーンは任意の6個を選択すること。

　５）パワープレイ

1試合1回認める。各スキップ同士で確認し配置すること。

　６）点数の決定、計測

・基本的にセルフジャッジとするが、計測が出来ない場合は審判員又は競技役員に声をかけること。

・各エンドの点数の掲示は各チームで行うこと。

　７）その他

・試合終了後のアイスの掃除は勝ったチームが行い、負けたチームはスコア表を本部に提出すること。

　　　・必要に応じてアイスメイクを行うことがあるので、ご承知願いたい。

Ⅱ　決勝トーナメント

　１）選抜方法、トーナメントの割り当て

・予選各リーグ1位、及び各リーグ2位のうち、DSCの成績が良い6チームを選抜し、16チームでトーナメントを行う。

・予選リーグ1位チームは、決勝トーナメントNo．１～10に割り当てる。

割り当ては、大会本部で該当チームにより一斉抽選を行う。抽選時期は下記のとおり。

リーグA～E１位：第⑤試合終了後、リーグF～J１位：第⑥試合終了後

・予選リーグ2位チームの対戦相手は、No．6-DSC1位、No．7-DSC2位、No．8-DSC3位、No．9-DSC5

位、No．10-DSC6位とする。

　２）試合方式

　　　・試合の長さは「Ⅰ　予選リーグ」と同様。

・8分前コールを行うので、そのエンドで試合を終了すること。

・試合終了時点で同点の場合、代表1人によるLSDにより勝敗を決定する。

なお、**このときのストーンの回転方向は問わない**。LSDが同値の場合はトスにより決定する。

　３）LSD、試投、ストーンの選択

・試合開始前に各チーム代表1人によるLSDを実施すること。**このときのストーンの回転方向は問わない。**

**・LSD投球者のみ、1投の試投を認める。**

・LSDの投球の順番はトスにより決定する。先に投球するチームは赤色ストーン、後のチームは黄色ストー

ンを使用すること。

・LSDの計測及び記録は各チームで行うこと。

４）、５）、６）

「Ⅰ　予選リーグ」と同様。